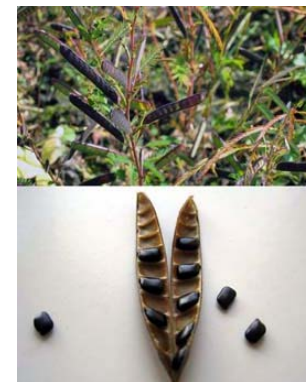


研究の背景

カワラケツメイ (*Cassia mimosoides*) はマメ科カワラケツメイ属の1年草。煎じたものをお茶の代わりとして古くから飲用、民間伝承的に利尿、強壮等。愛用者は飲用後の体調が良いという体験談。野辺地町ではカワラケツメイの特産化を目指す。茶粥などの食品開発にも取り組んでいる。



研究の目的

そこで、本研究はカワラケツメイの生理作用を解明し付加価値を高めて生産や製品開発などを促進することを目標に、その一環としてアルコール性肝障害と脂質増大に及ぼす作用成分の解明および有用なカワラケツメイの部位などを明らかにすることを目的とした。

研究の内容

各部位からリパーゼ阻害活性などの生理活性を探索し、活性画分の分画を試みた。生理作用検討の予備試験として、マウスのアルコール摂取による肝障害を検討した。

研究の結果

- カワラケツメイのある部分にリパーゼ阻害活性を見出し、活性の強い画分を得た。
- 今後、活性画分のアルコール性肝障害に対する作用および活性成分の解明を行う。